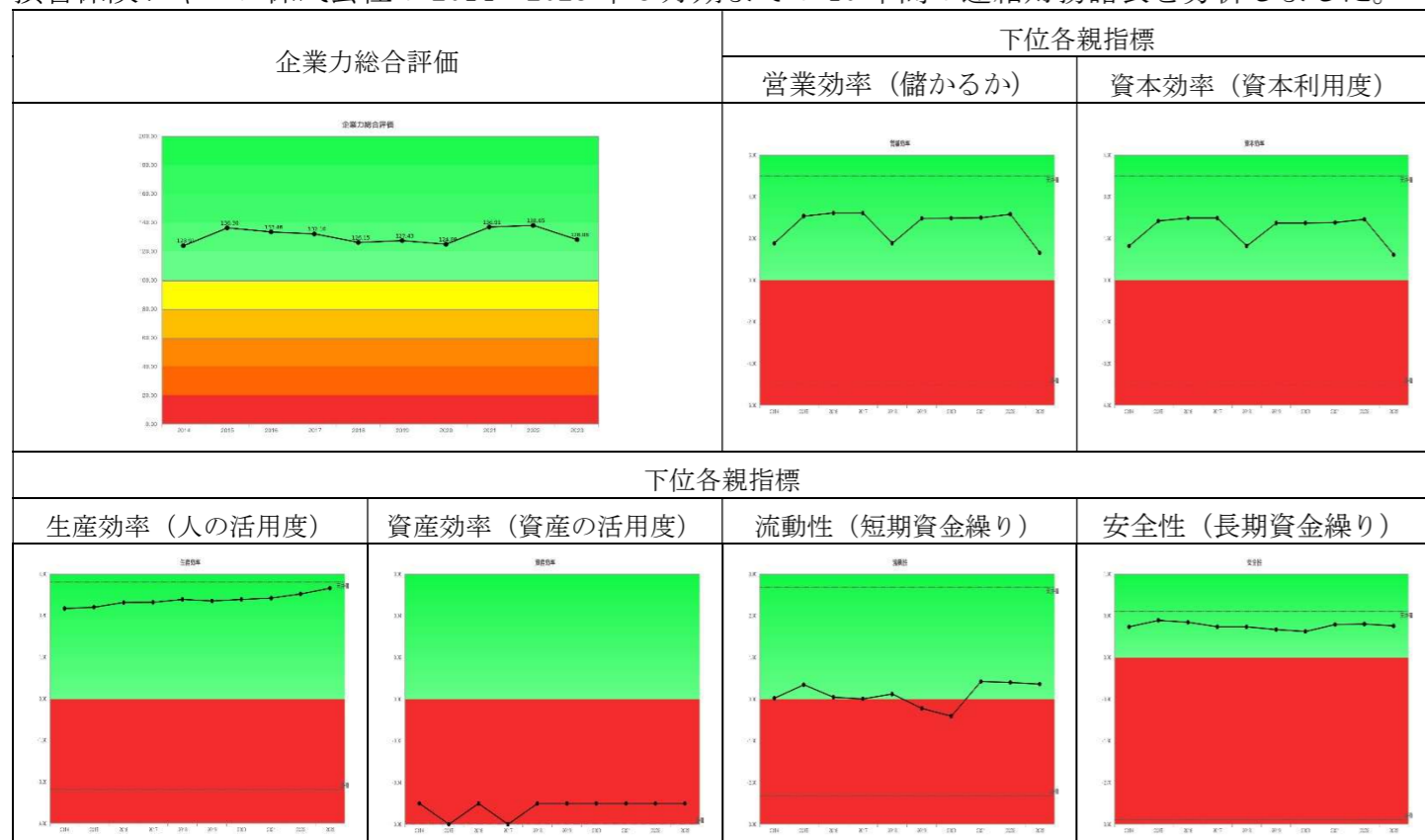


ビッグモーターの問題で揺れている損害保険ジャパン株式会社。自賠償保険の契約を貰う代わりに、故意に車を傷つけ保険金を請求されても、保険金を支払っていたのではないかと疑惑の報道があり、真偽は不明です。ここでは連結財務諸表から探ってみることにします。

損害保険ジャパン株式会社の 2014～2023 年 3 月期までの 10 年間の連結財務諸表を分析しました。



企業力総合評価は横ばい、営業効率・資本効率は 2014 年 2018 年 2023 年悪化しています。生産効率は常に改善トレンドでほぼ天井値です。資産効率が底値ですが、これは損害保険会社の特徴です。流動性は赤青ゼロ判別上にある、安全性はジワリと悪化です。総資産がさほど増えず(BS バランスをご覧ください)、営業効率が青信号領域にあるのに、安全性がジワリ悪化は珍しい現象です。何かありそうです。調べてみましょう。

純資産額の推移や増減理由の主なものを表にしてみました。2015 年の純資産急増は日本興亜損害保険との合併による影響です。損益計算書の末尾の当期純利益はその年度の純資産の部に足されますが、剰余金の配当等マイナス要因もあります。また、その他有価証券評価差額金のようなプラスもマイナスにもなる項目もあります。

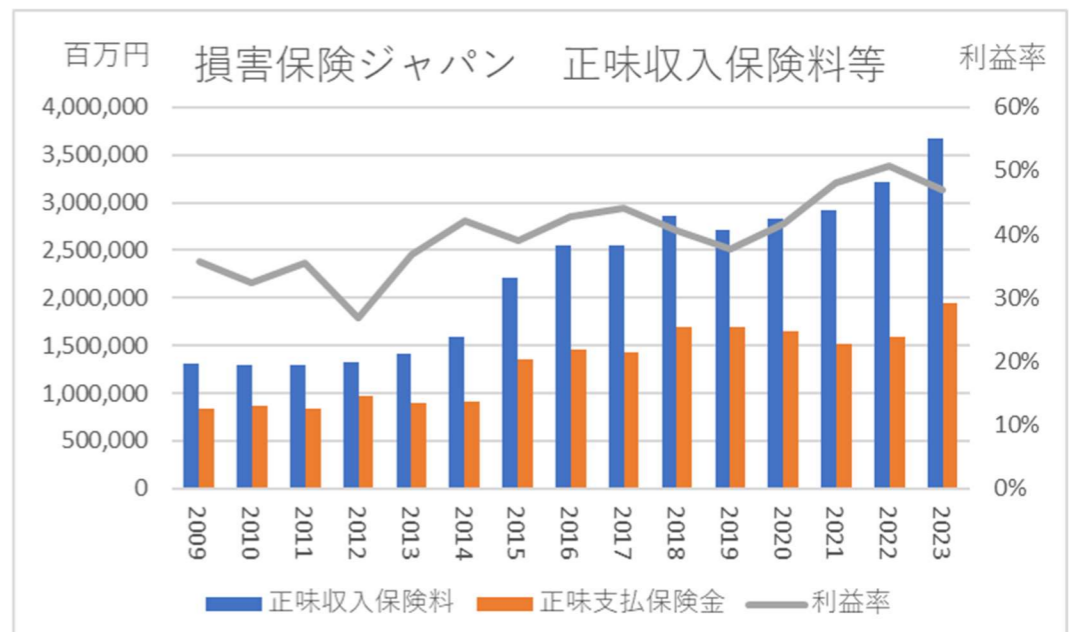
単位：百万円

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
純資産	786,630	1,631,646	1,328,442	1,549,404	1,590,384	1,407,081	1,247,859	1,372,292	1,440,570	1,364,791
純資産増加額		845,016	-303,204	220,962	40,980	-183,303	-159,222	124,433	68,278	-75,779
大なり・小なり		∨	∧	∨	∧	∧	∧	∧	∧	∧
当期純利益	35,510	49,790	155,077	170,791	140,553	149,119	127,407	134,322	179,924	106,573
その他有価証券評価差額金変動額	63,346	598,135	-249,147	53,987	60,099	-181,808	-176,662	252,361	-49,329	-178,217
剰余金の配当	-15,450	-47,900	-151,802	-85,978	-106,400	-106,926	-93,200	-209,984	-139,100	-128,960

結論は、その他有価証券評価差額金のマイナスが大きく、当期純利益が穴埋めになってしまい純資産が増加しない、です。損害保険会社は資金を有価証券で運用しています。その他有価証券評価差額は、保有している有価証券の価値の変動差額を、損益計算書を通さず、その差額のみを純資産に計上するものです。価値が下がればマイナス、上がればプラスになります。以上が珍しい現象の理由です。原因は、有価証券運用管理部署がうまく行っていないのでしょうか。

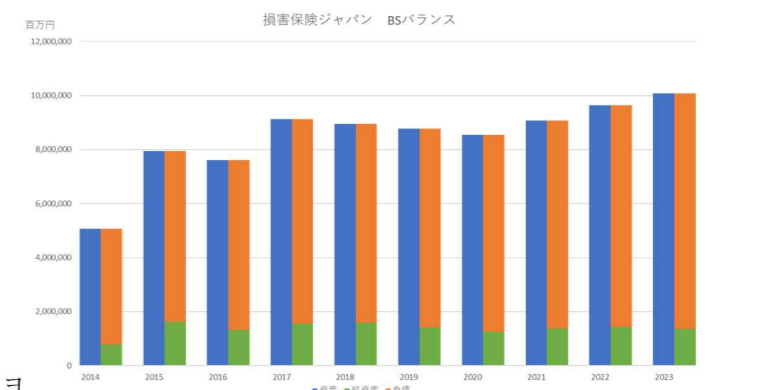
生産効率は安定した右肩上がりですが、増収・従業員減少が理由です。ひょっとしたら、有価証券管理部署の人員も減り、十分なパフォーマンスが出なくなっているのかもしれない。

損害保険会社の売上高は、正味収入保険料が多く、全体の 91%を占めます。これに対応する売上原価は正味支払保険金です。2019 年から 2022 年にかけて正味支払保険金が減っているのですから、不正請求があったとしても平気なわけです。気になるのは、「いつ限界が来るか」です。2023 年は反転、正味支払保険金が増加し、利益率が減少しています。



売上原価には損害調査費があります。損害調査を免除すればコストダウンになり、従業員数を減らしているのも、そもそも対応が難しいのかもしれない。

従業員数を減らして増収を達成しようとするれば、売れるしくみを構築する必要があります。社員がバタバタしなくても売上高が勝手に上る仕組みです。確かに、報道されているビッグモーター関連のスキームはこれに合致します。



ここでの分析では、従業員を減らすオペレーションが問題の起点という結論になりました。当初全く予想していませんでした。従業員数減少をキーワードにすると、ビッグモーターの件も純資産が増加しない件も説明がついてしまいます。

**まとめ**  
有価証券の運用管理が更に大きな問題かもしれません。損害保険会社の総資産の多くは有価証券等金融資産です。(ビッグモーターとの数字が不明の状態を前提にして記述しております)

**編集後記** 企業はダメだったら潰せばいいというものではありません。その中には問題と無関係に懸命に働く人、その家族がいます。責任ある人は去り、やる気のある人で再出発して欲しいと思います。(^^♪**文責 JY**  
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-6-19 プロパレス安土町ビル 7 階 D 号 株式会社 SPLENDID21  
tel 06-6264-4626 info@sp-21.com <https://sp-21.com>